

**学 生 協 働 支 援 隊
事 例 集
2024**

東 広 島 市 市 民 協 働 セ ン タ ー

防災キャンプの手引き作成

【実施団体】

東広島市防災士ネットワーク・住民自治協議会

【実施期間】

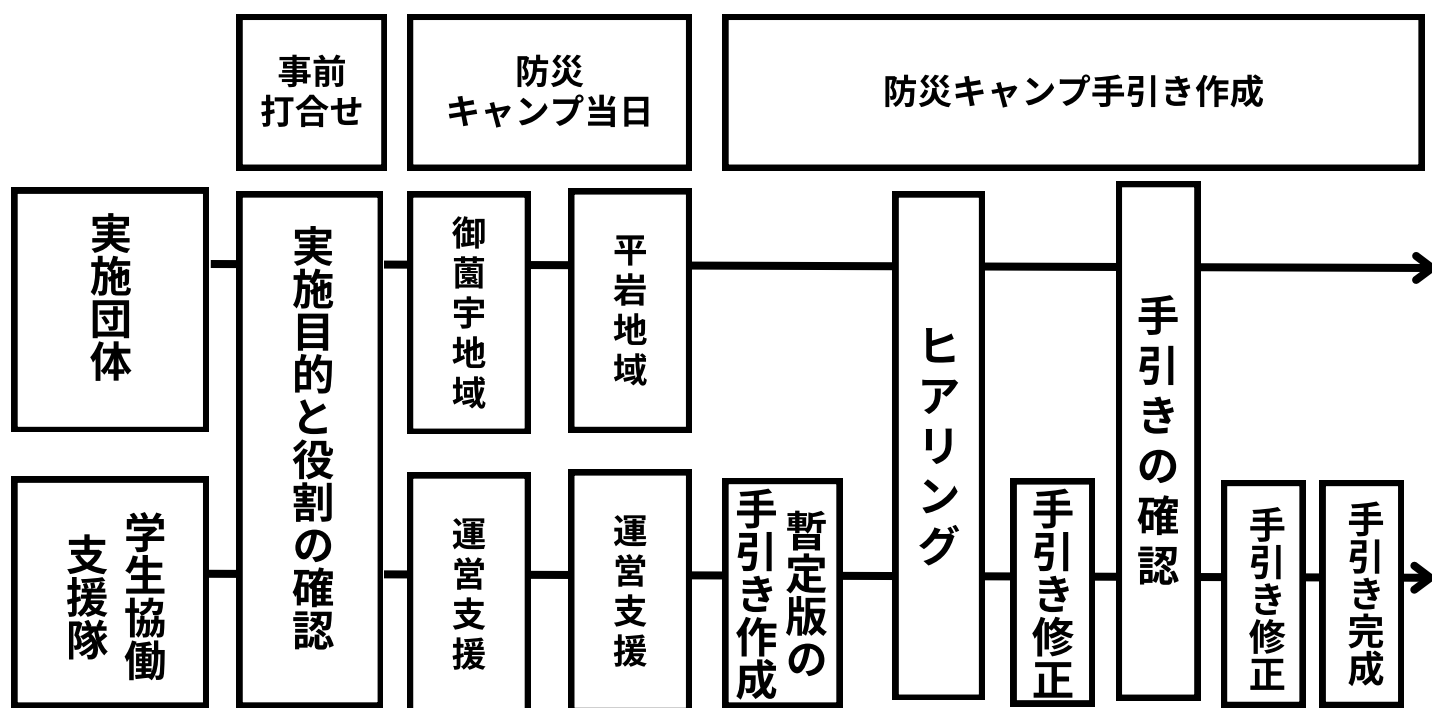
2024年7月～2024年12月

実施内容

2023年から宿泊を伴う避難所体験「防災キャンプ」が東広島市内で行われるようになった。しかし、この取り組みの普及が進んでいない。各地域で実施を進める参考書となる「防災キャンプの手引き」を作成した。作成にあたり、2地域で行われた防災キャンプに参加し、それぞれで感じたこと、体験したことを視点として加えた。



具体的な内容（流れ）【防災キャンプの手引き作成】



【Point】

- ・実施された内容を可視化し、手引きとしてまとめた
- ・参加者（学生）の視点で企画を評価

【期待される効果】

- ・市内外で防災キャンプの実施が増える
- ・豊富なコンテンツ集から内容の発想が広がる

連携団体からの感想

- ・防災キャンプ当日の運営支援が、プログラムの円滑な進行の助けとなった。
- ・実施した内容をとりまとめるには多くの時間が必要であり、このような形で可視化されるのは実施主体としてはありがたい。

豊栄スマホ講座～フリースクールとの連携事業～

【実施団体】

乃美別府住民自治協議会・能良振興協議会

【実施期間】

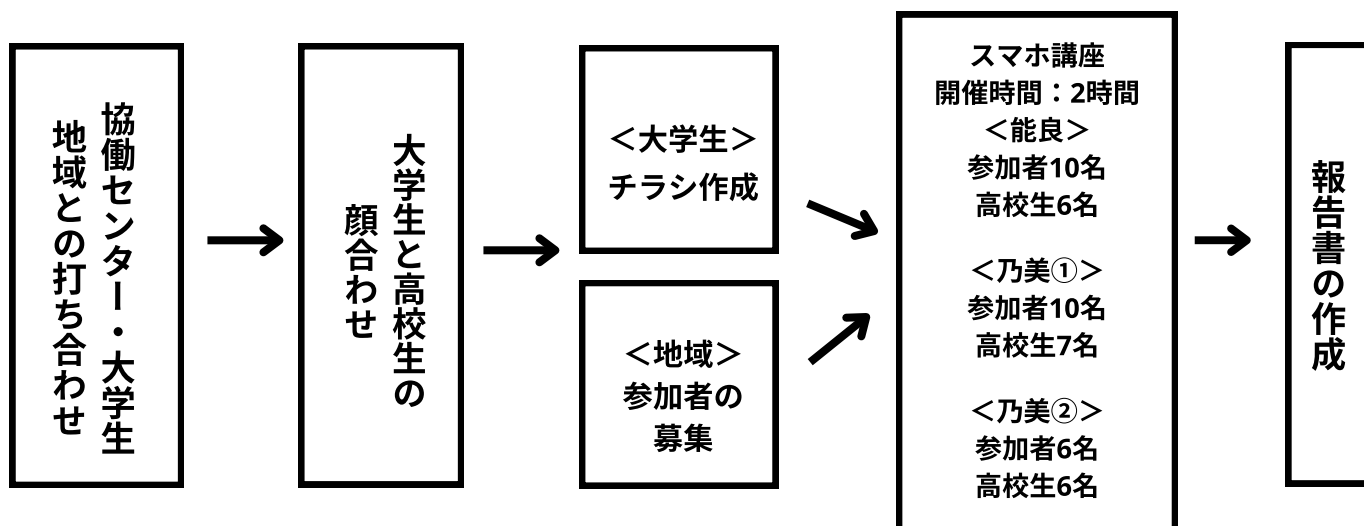
2024年4月～2024年7月

実施内容 ねらい

高齢者の情報格差とフリースクールに通う高校生の活躍という2つの課題の解決に向け、高校生を講師としたスマホ講座を計3回実施した。重要な情報伝達手段であるLINEに絞り、高校生が高齢者にマンツーマン指導をした。大学生は、高校生が分からない質問に対応する等、高校生が活動しやすい環境を構築した。



具体的な内容（流れ）【スマホ講座】



【Point】

- ・ 高校生によるマンツーマン指導
- ・ 高校生と地域住民の意向を汲んだ講座設計
- ・ 高校生の活躍の場の創出

【期待される効果】

- ・ 高校生の社会教育の場が整備される
- ・ 高齢者のスマホ理解度が高まる

連携団体からの感想

- ・ 自分のペースに合わせて、一つ一つ教えてもらうことで安心感があり、勉強にもなった。
- ・ LINEでメッセージを送れるようになり、息子にLINEを送ったら喜ばれた。

地域のデジタルマップ作成支援

【実施団体】

風早住民自治協議会

【実施期間】

2023年11月～2024年5月

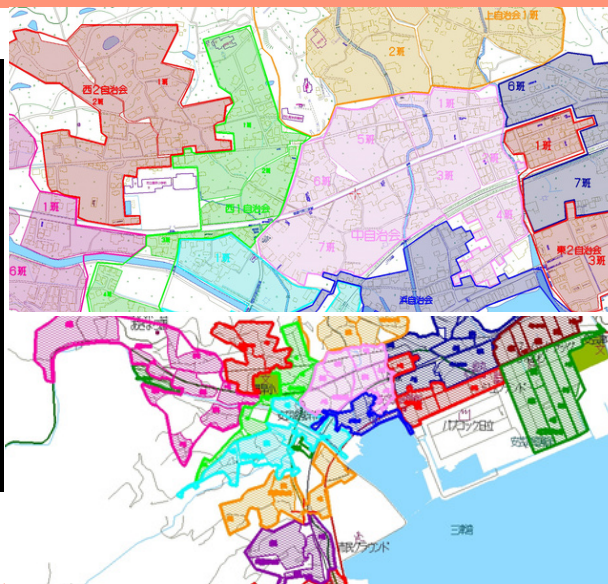
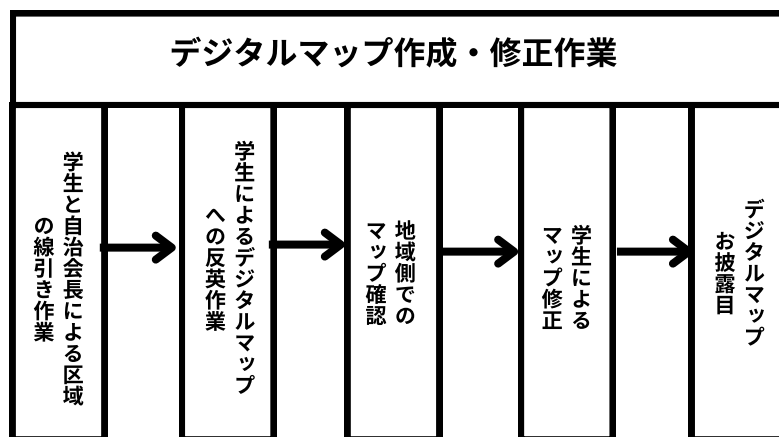
実施内容

地域情報の長期記録、保存を目的に、風早地区の自治会及び班の区域といった基礎資料をデジタルマップ化する作業を行った。

地域側は「区域の線引きと詳細な位置の確認」、学生側は「デジタルマップへの反映」と役割分担した。誰が見ても自治会と班の区域が分かる「地域のマップ」がデジタルで完成した。



具体的な内容【ファシリテーション】



【Point】

- ・地域側と学生側での作業の役割分担
- ・地域内での連携（自治会長、班長、民生委員など）
- ・自由に縮尺が変更可能なツールを使用
- ・自治会だけでなく班分けも行った

【期待される効果】

- ・作成したマップを活用し、様々な情報の可視化が期待される
例）空き家や防災倉庫の位置の把握
- ・各地区の防災訓練時でのマップを用いた避難訓練

連携団体からの感想

- ・デジタルに反映する作業が大変だと思っていたが、学生が担ってくれて助かった。
- ・デジタルマップを元に防災や空き家に関する情報を追加していきたい。

町を超えた自治協連携でのイベント開催

【実施団体】

龍王住民自治協議会・木谷自治協議会

【実施期間】

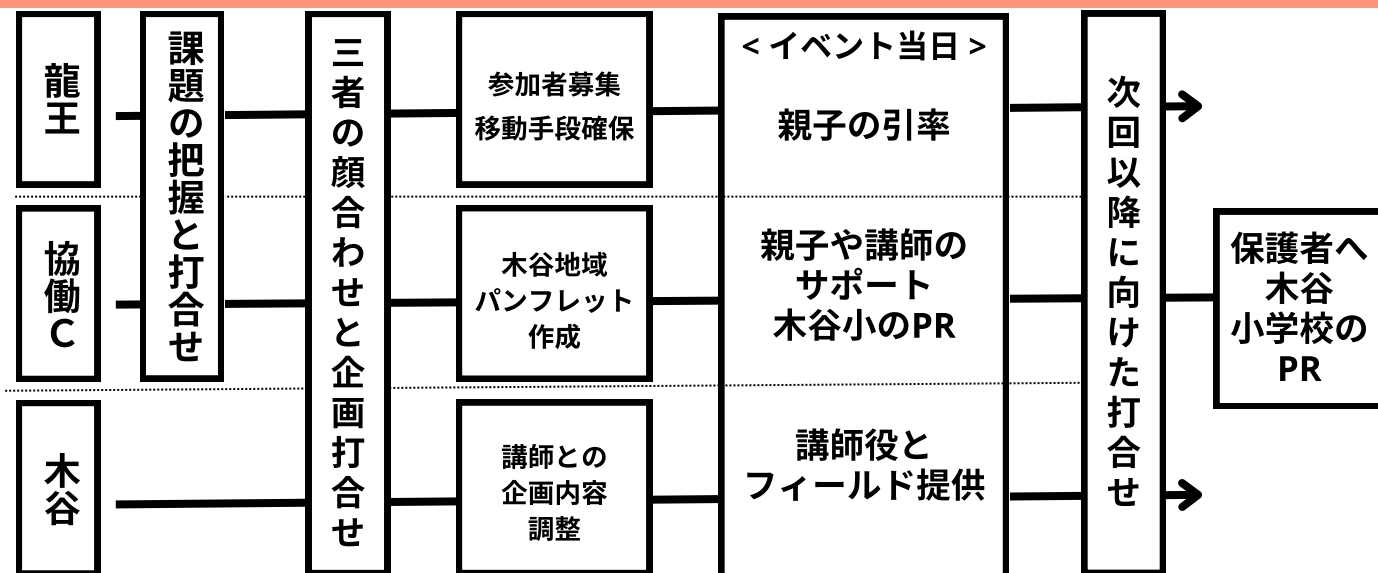
2024年6月～2024年9月

実施内容

龍王地域の親子向けに、木谷地域の既存行事「カニカニ大調査」を実施した。本イベントは、以前より木谷地域が地域の小学生向けに実施していたものである。中心市街地の親子の課題をもつ龍王側と、小規模特認校の認知を獲得したい木谷側のニーズが一致したことから、市内初の取組が実現した。18組36人の親子が参加し、その内2組が木谷地域に関心を持った。



具体的な内容【地域間連携の支援】



【Point】

- ・両地域の意思を尊重した支援
- ・地域の希望に沿った支援方法の提案
- ・親子にわかりやすいパンフレットの作成

【期待される効果】

- ・連携の円滑化
- ・両地域のニーズを満たす
- ・参加者の木谷地域に対する理解度向上

連携団体からの感想

- ・両地域のニーズを満たしたイベントを開催できたとともに、多くの関係者と繋がることができた。
- ・龍王地域から参加した親も、子供も、スタッフも全員楽しんでいた。

東広島 夏のサマースクール IN 戸野

【実施団体】

【実施期間】

子育てNPO法人ママの働き方応援隊広島学級・さくらもちの輪

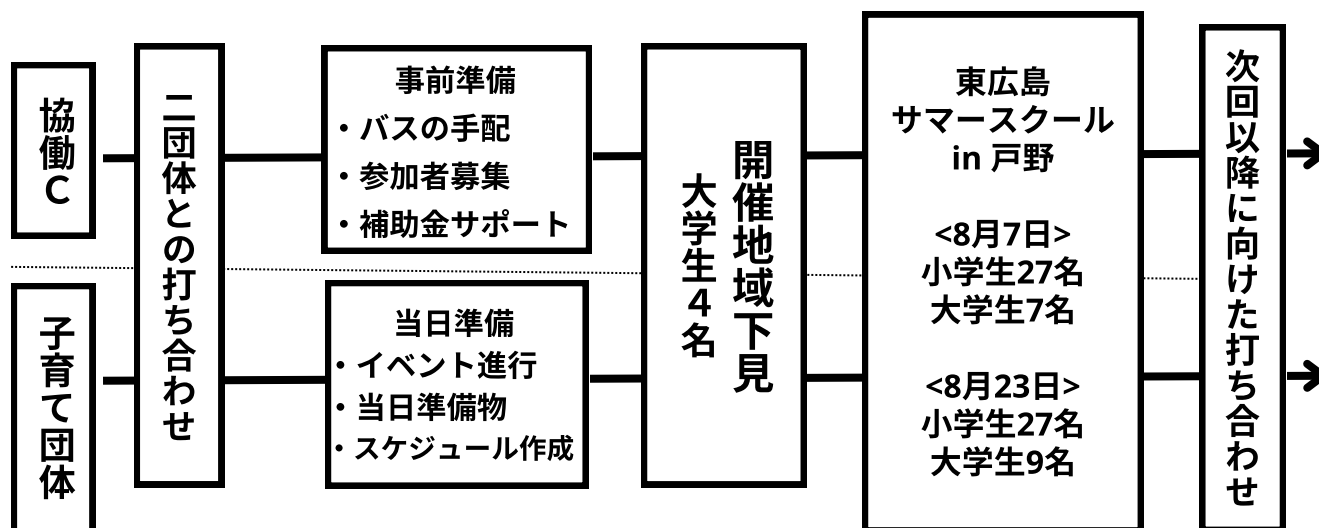
2024年4月～2024年8月

実施内容 ねらい

東広島市に住む小中学生向けに戸野地域の自然を活用して子ども達が主体的に考えて遊びを生み出すイベント「東広島 サマースクール IN 戸野」を計2回実施した。27人の小学生、13人の大学生ボランティアが参加し、大学生は子ども達との交流や安全を見守った。日にちを空けて2回実施することで子ども達に遊びの主体性を育むことができた。



具体的な内容（流れ）【サマースクール】



【Point】

- ・思いが一致した2団体の運営上の課題を学生協働支援隊がサポートしながら、過疎地の自然を活用した体験の場を提供
- ・2団体、学生ボランティア、地域を巻き込み多角的な視点で質の高いイベントを開催

【期待される効果】

- ・子どもたちの主体性の促進・強化
- ・子育て団体の連携とイベント運営の円滑化
- ・連携しながら地域でイベントを行うノウハウ（資金の調達や役割分担の方法など）の蓄積

連携団体からの感想

- ・2回のイベントを通して子ども達に主体性を持って遊んでもらうことができた
- ・この経験を通して次のイベントは子ども達だけでなく大学生にも主体性を考える場を作っていきたい